

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3970400226
法人名	有限会社 ゆう
事業所名	グループホーム 左右山
訪問調査日	平成21年2月5日
評価確定日	平成21年5月19日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970400226
法人名	有限会社 ゆう
事業所名	グループホーム 左右山
所在地 (電話番号)	高知県南国市左右山170番地1号 (電話) 088-862-3111

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月5日	評価確定日	平成21年5月19日

## 【情報提供票より】(平成21年1月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	44 人	常勤17(内兼務10)人、非常勤27人、常勤換算11.9人	

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000~42,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,100 円			

### (4) 利用者の概要(1月27日現在)

利用者人数	20 名	男性	6 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	2 名	要介護4	6 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	70 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊藤整形外科、下村病院、ひろこの歯科クリニック、三愛病院、愛宕病院、香長中央病院
---------	------------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>静かな田園地帯の中にあるユニバーサルデザインの事業所は、天井が高く開放感のある建物である。職員は利用者を家族の一員と考え、利用者も職員を自分の娘のように思っており、利用者職員が家族のように仲良く家庭的な雰囲気です。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は、「地域密着型サービスとしての理念」、「災害対策」であり、地域密着型サービスとしての独自の理念は全職員で話し合い改善されているが、地域住民の参加による避難訓練の取り組みは行われていない。早急な改善を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で話し合っており、最終的にユニットの責任者がまとめ、管理者、運営者も確認している。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所から活動報告等を行い、参加メンバーからは質問が出されるなど、双方向的な会になっているが、外部評価の結果報告や改善課題の取り組み状況は報告されていない。運営推進会議で話し合い、参加メンバーからの意見や助言を取り入れ、サービスの質の向上に繋がるよう改善に向けて取り組むことを期待したい。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>11月に家族に連絡を取り、家族同士が話し合う場を設けている。この時に、洗濯の仕方についての苦情があったが、話し合っており解決している。普段は、家族からの意見等は来訪時に直接聞いているが、家族会が組織されていないので、これを機会に家族同士が集まって話ができる家族会等の設置に向けて検討が望まれる。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事等は少ないが、年1回の清掃活動、2カ月に1回の地区公民館での食事会などに参加し、地域住民や地元老人クラブとの交流を行っている。また、事業所で開催するクリスマス会、節分、夏祭りなどの行事には地域住民が参加している。施設長が地元出身で、地域との関わりは密であるので、地域住民の参加、協力による避難訓練の実施も検討し、地域に支えられる事業所になることを期待したい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  前回評価での改善課題であり、全職員で話し合っ、「地域の中で生活することを目標とし、地域との交流を図ります。」という、地域密着型サービスとしての独自の理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  利用者の毎日が快適になるように、朝の申し送り時に理念について話し合っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  「家庭的な雰囲気を大切にし、」という理念に基づき、家族の了解を得て、入居後も利用者を愛称で呼ぶなど、親近感と家庭的な雰囲気を大切にしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  年1回の清掃活動、2カ月に1回の地区公民館での食事会などに参加し、地域住民や地元老人クラブとの交流を行っている。また、事業所で開催するクリスマス会、節分、夏祭りなどの行事には地域住民が参加している。散歩の途中で空き缶やゴミ拾いも行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  自己評価は全職員で話し合っ取り組み、最終的にユニットの責任者がまとめ、管理者、運営者も確認している。  <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。  前回評価で見出された課題については改善計画は立てていない。	○	評価で見出された課題について、改善計画を立て、計画的に改善に向けて取り組むことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  事業所から活動報告等を行い、参加メンバーから質問が出され、双方向的な会になっている。  <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。  外部評価の結果報告や改善課題の取り組み状況は報告されていない。	○	評価で明らかになった課題や自己評価については、運営推進会議に報告し、参加メンバーからの意見を聞き、改善に向けて取り組むことが望まれる。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  市の介護保険課から業務に係る助言や指導を受け、事業所からも相談を行うなど、サービスの改善に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。  家族来訪時には利用者の近況を報告し、家族の状況も聞いている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。  毎月請求書送付時に「そやま通信」を同封している。利用者の写真は居室に貼ったり、家族来訪時に見てもらったりしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。  <input type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。  個人別に金銭帳に記入しているが、1カ月毎の締めが無く、領収書もまとめていない。	○	金銭管理は複数の職員で行うとともに、月単位で帳簿を締め、領収書も整理し、家族来訪時等に定期的に報告を行い、確認をもらうことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。  11月に急遽家族が集まる会を開催し、家族同士で話し合う場を設けている。今後も家族同士が話し合う場を継続的に設けることを期待したい。  <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。	○	苦情対応については、運営者、管理者、職員全員で検討を行い、改善に向けて取り組むことを期待したい。また、サービスの質の向上に役立つため、苦情の発生要因を探り、記録にも残すなどの取り組みも期待したい。今後、より意見や苦情を引き出すために、介護相談員や第三者委員など、外部からの苦情相談員の導入も検討されたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  過去に退職者があったが、現在は落ち着いており、利用者のダメージ等は見られない。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。  引継期間を1カ月程度取り、家族にも来訪時に紹介している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  パート職員を含む一部職員が研修に参加していない。  <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  朝の申し送り時に、研修を受けた職員が報告している。	○	職員の質の向上を図るためにも、年間計画を立て、パート職員も含め全職員が研修に参加できる体制作りをが望まれる。また、研修内容を職員が共有するためにも、研修報告書の提出も検討されたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  2～3カ月に1回、南国市のグループホーム6施設が連絡会を開催し、互いに交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>本人や家族から状況を確認し意向も聞いている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族が見学に来ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者、施設長、ケアマネージャーが複数で面接を行なっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>野菜の皮むき、食事の後片づけ、洗濯たたみ等、協働しながら生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者は喜んでいると思えば突然不安な表情をする時もあるので、職員は優しく寄り添って話を聞くなど、利用者の喜怒哀楽を理解し共感するように努めている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>入居時の情報やその後の日常の会話等の中から、一人ひとりの思いや暮らし方の希望等を把握するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族や友人等からの聞き取りや日々の気づきを毎日の伝達ノートに記録し、職員間でその情報を共有している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 本人や家族の意向を聞き、介護計画に反映させている。  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 カンファレンスは職員間で話し合い、モニタリングも1カ月毎に実施している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 短期1カ月、長期3カ月で見直しを行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  状態に変化が生じた場合はその都度見直し、個別の期間設定をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 主に病院への受診支援で生活が継続できるように対応している。協力病院の往診は状況を判断して対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  通院介助は職員が対応し、特別な外出、外泊は家族が対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 本人や家族の意向に沿って支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。  個人記録に記入して、家族にも報告している。検査がある場合は家族に来てもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>重度化や終末期の対応を検討しており、家族が終末期の対応をどのように望むのか、家族の意向を現在確認しているが、終末期の対応方針は作成していない。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>家族の希望に応じて対応するように検討している。</p>	○	<p>関係者全員の方針の統一を図るためにも重度化や終末期の対応方針を定め、それに基づき関係者が話し合い、本人や家族の意向を踏まえて取り組むことの出来る体制づくりを期待したい。</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>トイレ誘導時はさりげなく言葉をかけるなど、本人を傷つけないように配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>朝の申し送り時等で、利用者のプライバシーに関する話を話さない等、徹底を図っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>全職員に周知し、徹底している。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>利用者の希望を聞き、その日の体調に合わせて柔軟に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>基本的な一日の流れはあるが、利用者の希望に応じて対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。</p> <p>食事の下準備から食後の後片づけまで、できる利用者には手伝ってもらい、一緒に進めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。</p> <p>同じものを職員と一緒に食べている。介助が必要な利用者には職員が寄り添い、さりげなく介助しながら食事をしている。</p>		
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>入浴する曜日がユニット毎に異なるが、利用者の希望があれば他のユニットの曜日に入浴出来るように支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>声かけなどの工夫をして入浴できるように支援している。</p>		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>畑仕事得意な人、調理が好きな人など、利用者の楽しみごとや役割を把握しており、茄子の水やりの仕方、タマネギの皮の使い方、門松の縄の緋い方など教えてもらうことが多い。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>俳句を作ったり、事業所の自家菜園へ出かけたりして、利用者が出来ることや興味を引き出すようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 馴染みの理・美容院や昔行っていた商店、スーパーなどに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 日常的に、希望者は食材の購入時に一緒に出かけ、100円ショップにも出かけている。元気な利用者は特に身体を動かすことが好きで、頻繁に散歩に出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 駐車場に出て行く人がいるが、見守りながら時折声かけもして、さりげなく対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 事業所の前の散髪屋をはじめ近所の方々にも呼びかけ、協力してもらえる関係が出来ている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 防災訓練は実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路の確保、消火器等の設備点検は出来ており、地下水、非常用食料、備品も備えている。	○	災害時には地域住民の協力は不可欠であり、地域住民参加の避難訓練の実施を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>栄養摂取総量は全員記録しているが、水分摂取量は医療面で把握が必要な人だけをチェックしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者から好みなどを聞き、スタッフが献立を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士にチェックしてもらっている。</p>	○	健康管理の観点から、水分摂取量についても、利用者全員の把握が望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>天井が高く、広々とした空間の中に畳を敷き、ソファを配置して、利用者が落ち着ける共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>各ユニットの畳の間に金魚を飼い、日本人形や掛け軸を飾るなど、家庭的な雰囲気を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>2階の入り口に活け花を活け、パッチワークで作ったお雛様やポインセチアの花を飾り、季節感や五感の刺激に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>家族が書いた絵や絵手紙、クマのぬいぐるみ、ダンス、イス、押入れチェストなど、好みの物や馴染みの物を置くなど、工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>居室に本人の写真を飾ったり、希望を聞いたりして対応している。</p>		